

なごみレター（中野和美議会報告）

令和2年度報告

令和2年度は新型コロナウイルスに翻弄された年でした。
新年度が未来ある明るい年となりますよう活動して参ります。



<令和2年度 議会一般質問>

令和3年3月 定例会

「防災行政無線について」

防災行政無線の設置事業も完了したところで、**戸別受信機の設置比率が45%**という状態です。エリアメールやメール配信があるとはいえ、**残り55%の町民**にどのようにして、町からの防災情報を伝えていくのか、これから考えていかなければならないところです。解決策の事例をいくつか挙げさせていただきます。これらのアプリは**防災行政無線と連動し、発信側も移動若しくは避難しながらも運用でき、受信側は救助要請できる**という利点があります。



東日本大震災では本部で注意喚起を最後まで呼び続けた職員が避難できずに亡くなった事例がありました。そのようなことは避けねばなりません。是非導入をお考えいただきたい。

令和2年12月 定例会

「継続事業の重要性について」

①令和2年度に**生ゴミ処理の予算**を組み込んでいただき、**12月現在の執行率は20~25%**のところではあります。現在、多額の修繕費を投入しながら使い続けなければならない焼却場の負担を軽減していく為にも、町民（加茂市民も含め）分別の準備などの習慣化や、少しずつの誘導努力が必要です。これから、ゴミ処理場を建設する検討段階にあるこの時から、分別への準備が必要と考えますがいかがでしょうか。



②国道バイパスも繋がり、交通量は軽減されましたが、歩道整備は地元町民の命を守る大切な整備事業です。平成元年度決算で**進捗率が25.2%**の**地積調査事業**も含め継続的にお願いします。

令和2年9月 定例会

「税金等の決済手段について」

地方創生臨時交付金には適応する新しい生活様式への転換の中で、町税など**非接触型の決済方法**の導入を。

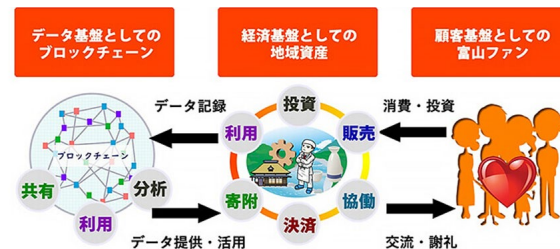
「椿寿荘の改修について」

地方創生臨時交付金には適応する「**地域の魅力の磨き上げ事業**」として、文化資源や古民家を活用した着地型の観光コンテンツの経費の一部を支援する項目があります。この制度を活用して、**椿寿荘の改修**は可能ではないか。

「地域仮想通貨について」

地域通貨といえば、今までは紙ベースでしたが、最近は**デジタルの地域通貨が主流**となり、ブロックチェーンの導入で安心な取引が出来るようになりました。

地域経済の活性化や公共交通をこれから導入する田上町に必要なのではないかと考えます。



令和2年6月 定例会

「新型コロナウイルスの影響による支援について」

- ①梅雨を迎え、**避難所も密を避ける**為に、避難者間の間隔を確保する必要があります。町所有の施設にこだわらず、民間の施設にも協力を要請してはどうか。
- ②全町民への**公平な支援策**として、**水道料金基本料の支援**は考えられませんか。
- ③自粛生活の中で**運動不足解消**に、見附市のような**オンライン運動教室**を導入してはどうか。



令和2年主な議会の動き

議会全員協議会 4月21日

・新型コロナウイルス感染症について

①町の感染症対策のこれまでの経過と当面の対応方針 ②役場の新型コロナウイルス感染症の危機管理について ③新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地域経済への支援策について ④田上町商工会からの要望書 などについて報告があり、関連事項の質疑・提案がなされた。

「新型コロナウイルス対策の提言」

4月30日 町長への申し入れ

1.事業所、個人の困窮状況を速やかに調査すること。2.災害対策同様に大幅な財政調整基金を取り崩した財政出動をすること。

5月1日 町長への具体策の申し入れ

1.ワストップで相談できる総合窓口の設置をすること。2.特別定額給付金の早期給付を行うこと。3.売上げ減少、小規模小売店の対策（商品券・クーポン券など）を行うこと。4.困窮する学生対策、児童扶養手当受給者の支援を行うこと。5.オンライン学習の環境整備を進めること。その他にも様々な意見があることを伝えた。

5月14日 (1) 新型コロナウイルス感染症に伴う支援策について 議会からの申し入れ事項への対応と回答

＜優先事業＞

・ワストップで相談できる総合窓口の設置をすること。⇒ 生活関連、経済関連等多岐にわたる事が想定されるが相談窓口は、1階 保健福祉課とし、相談室を利用し対応。（担当者が相談室へ）

・特別定額給付金の早期支給を行うこと。⇒ 総務課 5/8に申請書を発送。5/15支給開始予定。（早ければ5/14より）

・学校のオンライン授業の早期対応 ⇒ 教育委員会 オンライン学習の実現可能性については、各学校と協議中。受験対応が必要な中学3年生の通信環境の整備から始めたい。

・売上減少している業種への支援 ⇒ 産業振興課 国の「持続化給付金」の受給要件に上乘せして、50%未満の町内事業所にも支援を行う。（町独自支援制度）

・幼稚園～大学生までの支援 教育委員会 大学、短大、専門学生に支援（町独自支援制度）

＜その他事業＞

・ひとり親家庭等への支援 ⇒ 保健福祉課 一律5万円支給（1回のみ）（町独自支援制度）

・給食の中断から、こども食堂等の検討を ⇒ 教育委員会 保健福祉課 近日中の開設は難しいが、保健師、家庭訪問相談員を中心に注意深く見守り、支援していく。

・各種税、料等に対する支援（離職者への支援も含む） ⇒ 各担当課 今後の国の動向を踏まえて検討。

・水道料金の全町民対象の減免 ⇒ 地域整備課 現状の財政状況を踏まえると実施は難しい。

議会臨時会上程予定の新型コロナウイルスに関する支援策について

＜国・県支援制度＞

特別定額給付金、子育て世帯への臨時特別給付金、国民健康保険・後期高齢者医療の傷病手当金、持続化給付金、雇用調整助成金、新潟県新型コロナウイルス感染症対策特別融資、国民健康保険料の減免、固定資産税の減免、休業要請に係る協力金

＜町独自支援制度＞

・ひとり親家庭等特別給付金 ・大学等就学支援給付金 ・感染症対策特別融資に係る信用保証料助成 ・雇用調整助成金申請経費の助成 ・温泉源泉使用料、下水道使用料（温泉分のみ）の減免 ・感染症予防及び事業継続等緊急支援金 ・プレミアム飲食券「きずなW飲食券」 ・小さな支援「まちべん」

特に町独自支援については、支援が有効に利用され、尚且つ公平性が保たれる様、多くの討議がされた。

【令和2年 第3回臨時会】5月20日

議員全員協議会 6月2日 ・両小学校給食棟空調設備設置工事 ・GIGAスクール構想 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画 ・公共交通 ・清掃センターの修繕

【令和2年 第4回定例会】6月17日から25日までの9日間

議会新型コロナウイルス感染症対応打合せ会議 7月8日

新型コロナウイルス感染症による国からの第二次補正予算に関し、どの様に町民・事業者への支援に繋げられるか、各会派及び議員より提案が持ち寄せられ、地域経済・雇用対策・新しい生活様式などについて議論され、議会としてまとめた提案事項を9日に町長に提出。

＜基本となる事項＞

・町民及び各事業所等における現在の生活や経営の実態把握の必要あり ・これまでの町の対策や国県等の対策の実績と、それに対する評価が必要 ・国の2次補正の交付金（1億8千万）と、町の今後の対策で必要となる金額の考え方の整理が必要

＜主に議論となった事項＞

・対策が不足している業種への対応（農業、製造業等） ・雇用対策（失業、休業等への対策、雇用の継続） ・リフォーム事業（店舗の改装等と併せ、住宅等の改装による建築関連業種への支援） ・商品券発行（実施済みの対策の補完ではなく別の対策として） ・避難所対策（更なる対策を）

第35回交流会館等建設調査特別委員会 8月11日

・地域学習センター設置条例（案）について ・地域学習センター工事契約の変更について ・道の駅たがみサインマークと地域連携施設ロゴマークについて ・トイレ・情報発信・休憩施設の内装等 ・道の駅たがみ直売所出荷者協議会について

次号へ続く